

大阪府教育委員会
教育長 竹内脩様

枚方市に特別支援学校設置を求める要望

昨年6月に学校教育法が改正され、児童生徒の個々の教育ニーズに応じ、適切な指導および支援を行う特別支援教育が、今年4月から実施されることになった。

今後は、障害のある児童生徒の社会的自立を実現するために、教育環境の一層の充実を図ることが重要である。

枚方市の障害教育は、従来からノーマライゼーションの理念のもと、「地域で、ともに学び、ともに育つ」教育を推進されてきた。

しかし、市内の小中学校でも、LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥・多動性障害)を含む障害のある児童生徒に対する特別支援教育の実施について、特別支援学校(盲・聾・養護学校)による支援が強く求められている。

さらに、今後、児童生徒数の増加という量的な拡大への対応とともに、時代に即応したカリキュラムの検討など、教育の質的充実も求められている。

そのため、『第3次大阪府障害者計画』にもあるように、就労を通じた社会的自立を促進することが重要であり、高等学校段階において多様な選択肢を拡げるため、知的障害のある生徒を対象とした高等部単独の『特別支援学校』を枚方市内に設置することを要望する。

枚方市には企業団地が集積していることから、職場実習の受入促進などの企業との連携も容易であり、様々な職業教育の充実策を図ることが可能である。

さらに、知的障害のある生徒が障害のない生徒と共に学ぶ機会を高等学校の場で共有するため、高等学校と特別支援学校の連携や市内小中学校等を支援するセンター的機能の充実も併せて要望する。

平成19年3月12日

自由民主党大阪府議会議員団

岡沢 健二



民主党・無所属ネット大阪府議会議員団

中村哲之助

漆原 周義



公明党大阪府議会議員団

鈴木 和夫

